

**問** エッセンシャルワーカー支援の対象は。

**答** 市内の医療施設、福祉施設、子育て関連施設及び清掃事業者など感染症のリスクが高い方々に感謝と応援の気持ちをお示しすることが目的だ。

**問** 国民健康保険料について

**答** 国保料の据え置きを公約に掲げた。料金改定を先送りすることによる後年度負担について、今後の改定を見据えると急激な料金改正にならないか懸念がある。現時点での考えは。

**問** 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が市民生活に与える影響に配慮し、国保運営協議会の附帯意見を踏まえ、据え置きとした。据え置くことにより、保険料収入が1億1千万円減少するため、基金から同額を充てる。

**問** 介護保険料について

**答** 国保料と同様に介護保険料の引下げを公約に掲げた。引下げをできる根拠は。

**問** 介護保険運営協議会からの答申内容、介護保険担当からの説明を受けた上で、コロナ禍における市民生活への影響を鑑み、改めて介護保険料の引下げを指示した。

**「子どもやせやしこまわり」**

**問** 市内公共施設の約6割を占める老朽化した学校施設の更新計画は。

**答** 学校施設に求められる機能・性能を確保する目的で学校施設を対象とした個別施設計画の策定を進めている。学校施設適正規模・適正配置に関する基本方針を踏まえ、教育環境の質的向上を目指す。

**問** 公共施設の在り方や市民意見も踏まえた今後の方

向性の見解は。

**答** 公共施設の在り方について、複雑化する市民ニーズやライフスタイルの多様化により時代のニーズに合わなくなった施設も存在する。サービスの目的ごとに公共施設を設置するという考え方を直し、公共施設で提供するサービスの需要と供給のバランスを考慮し改めて検証していく。

**問** キーステーションについて

**答** 学校を地域の拠点と位置づけることにより、どのようなことが期待できるのか。重要な拠点としての学校の在り方についての見解は。

**問** 教育施設であるとともに地域の方々が学校と関わることでコミュニティ形成の場として機能すると思われる。地域と学校の連携が進む視点も重要だ。学校を積極的に開放し、地域をつなげるための学校にしたいと考える。

**問** スクールサポーター制度について

**答** 具体的にどのようなものを念頭に置いているのか。

**問** 地域住民に、地域における学校応援団として地域ぐるみで子どもたちの学びや成長を支える仕組みだ。学習環境について

**問** 子どもの特性が多様化しているが見解は。

**答** 校長、教育支援コーディネーターを中心に養護教諭やスクールカウンセラーなど学校全体が対応しているのに加え、学校生活支援員や介助員の支援で個別対応の充実が努めている。今後、個別対応が必要な子どもが増加した場合は、真に必要な支援者の配置数や専門性について検討していく。

**「健康で元氣なまち」**

**問** ワクチン体制確保について

**答** 医師会との連携を強調してきたが、どのように連携するのか。また、市内医療機関における個別接種は可能か。

**問** ワクチン接種は、医療機関、医師会の協力が不可欠だ。ワクチン配送体制の構築により、病院や集団接種会場だけではなく、地域医療を担っている診療所などで接種が実施できるため、かかりつけ医により安心して接種を受けることができる。

**「集える場とつながりのあるまち」**

**問** コミュニティについて

**答** 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、市民の交流活動が停滞している。今後のコミュニティ政策の進め方の見解は。

**問** 令和2年に市民協働推進センターゆめこらぼにオンライン配信設備を導入し、事業のオンライン配信化及び市民活動団体への技術支援の強化を図った。インターネットの活用など新たなニーズに柔軟に対応することとコミュニティの活性化に取り組み。

**自主避難所の開設について**

**問** 自主避難所における地域住民の協力について、課題もあるが解決策は。

**答** 令和元年の台風第19号の際、自主避難所を開設した。開設に当たり避難者の受入れ態勢や情報伝達方法など、課題が顕在化した。1つに自主避難所が災害対策基本法の指定避難所ではないため、開設に協力いただいた地域住民の方が事故やけがなどの際の補償が課題だ。引き続き検討する。

**問** 開設における市職員の参集体制づくりの課題は。

**答** 一部職員が参集困難になるなど課題があった。避難所開設に従事する職員名簿を作成し体制整備を行い、開設訓練を行った。

**「安心・安全で快適なまち」**

**問** 田無駅南口について

**答** 田無駅南口交通広場の整備状況と完成イメージを市民に分かりやすく明示すべきと考えるが、見解は。

**問** 令和2年度に1件の用地を取得した。完成イメージ図は、具体的な設計をする際に作成予定だ。

**問** 開設における市職員の参集体制づくりの課題は。

**答** 一部職員が参集困難になるなど課題があった。避難所開設に従事する職員名簿を作成し体制整備を行い、開設訓練を行った。



田無駅南口駅前広場



市職員による自主避難所開設訓練

**西武新宿線の連続立体交差事業について**

**問** 整備が進むに当たり近隣住民への影響の想定は。

**答** 令和18年度から19年度までの間に完成予定と東京都から聞いている。市として東伏見駅周辺地区まちづくり構想に掲げた方針に基づき取組を進める。環境影響評価8項目については、予測評価を行ったと説明があった。

**「市民とともに発展するまち」**

**問** デジタル化について

**答** 地域情報化方針では、行政手続のオンライン化を令和2年度までに15件、令和5年度までに34件を目標としている。市民は市役所に来庁する手間や待ち時間が減り、職員は業務効率の向上が期待される。今後の取組は。

**問** 将来を見据えた検討をする必要がある。国の動向に注視しつつ、デジタル化を進めるべき分野と対面での相談を充実すべき分野の整理など、人にやさしいデジタル化が推進できるように取り組む。

**問** グランドデザインについて

**答** 市長選挙では政策としてまちのグランドデザイン、将来ビジョンを策定したいと訴えていた。第3次総合計画や都市計画マスタープランとの関係は。

**問** 総合計画と分野別の各種計画を結びつけ、まちづくりのイメージを視覚的に共有することができるとグラウンドデザインを描いていきたい。

**問** 障がい者福祉について

**答** 障がいのある方の高齢化対策など、高齢者福祉が抱える課題は山積している。

**議会トピックス ① インターネットで議会中継を行っています**

**【本会議】** ライブ中継や録画中継を配信しています。公開期間は次の定例会前までです。  
**【常任委員会】** YouTubeでライブ中継や録画中継を試験的に配信しています。  
 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ぜひインターネット中継をご利用ください。

次期障害福祉計画において障がいのある方への対策は、事業所間の連携体制を構築し、地域生活支援拠点等を中心とした切れ目のない支援が必要だ。

**問** 泉小跡地に計画している障害者福祉施設の方向性は。

**答** 社会福祉法人が整備中の施設整備は、重度心身障害児の放課後デイサービスを開設すると伺っている。包括的な支援の場の確保に取り組み。

**問** 市民参加について

**答** ごみの収集方法の変更について、多くの市民の意見をいただき、廃棄物行政が進められてきた。一方、行政計画や公共施設の検討は参加者が比較的少なく、形骸化や特定の市民の参加が散見されるが見解は。

**問** 多様な意見をお持ちの多くの市民が参加しやすいSNS等の新たな情報ツールの活用も検討していく。

**問** 統合庁舎について

**答** デジタル化の進展など時代の変化に対応した統合庁舎をつくるのが重要なポイントであるが見解は。

**問** 庁舎統合方針の見直しをする公約を掲げた。機能、規模、スケジュールの見直しを行う。

議会インターネット中継はこちらからアクセスできます。

市議会ホームページ QR コード (インターネット中継)

市議会

新着情報

- 4月5日更新 令和3年3月定例会
- 4月2日更新 会期内日程および付議案件 (令和3年第1回定例会)
- 4月2日更新 付議案件・結果 (令和3年第1回定例会)
- 3月18日更新 本会議中継
- 3月18日更新 常任委員会中継

議会トピックス

- 正副議長・監査委員が新たに就任しました
- 会派所属議員の変更について
- 会派代表者変更のお知らせ
- 正副議長の選出について
- 議会運営委員会開催のお知らせ
- 東京都議会議員研究会がオンライン開催しました
- 議員研修会を開催しました
- 令和3年第1回臨時会開催のお知らせ

定例会の日程・結果

- 日程・案件一覧
- 結果一覧
- 本会議の開催項目
- 常任委員会中継

\*エッセンシャルワーカー 日常生活を維持していく中で重要な役割を担う、必要不可欠な労働者